

# 社会福祉法人大東福祉会（大垣市）



業 種：社会福祉事業

労働者数：105人

●行動計画期間：平成30年9月1日～令和3年3月31日

●育児休業取得実績：男性2名、女性2名が育児休業取得

●取組のきっかけや成果



人事労務担当者

これまで子育て支援をはじめ、職員それぞれのライフステージに適應した雇用環境整備に努めてまいりました。昨年は、男女職員各2名の育児休業取得率100%を実現しました。職員が、男女の区別なく子育てに参画し、仕事との両立を図ることができるよう、今後も「働き方改革」を推進し優秀な人材の定着に繋げてまいります。

●働きやすい環境づくりのための取組

○妊娠中・出産後の女性職員の母性健康管理について、制度等が利用できることをすべての職員に対して周知し働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

○男性労働者も育児休業等の制度が利用できることを全ての職員に周知し、育児休業取得を促進しました。

○妊娠の報告があった男女職員には、定期的な面談を行い、男女とも育児休業取得率100%を達成。更に育児休業中の職員に対し円滑に職場復帰できるよう定期的に情報を伝え、復帰を支援しました。

○所定外労働時間を削減するため、介護ロボットを導入。職員の所定時間外労働の削減を目指しました。

●育児のための各種制度の整備や復職支援

○子の養育を容易にするための措置（育児短時間勤務制度）を小学校就学の始期に達するまで利用できます。

●職員の声



今回初めての出産で不安ばかりでしたが、妊娠中より業務の内容を減らしてくださり、身体に負担がかからないよう気にかけてもらえました。また1年間の育児休業でしたが、保育園の空きがなく約1年半育児休業を取得させて頂きました。復帰後も息子の体調不良で何度も急なお休みを頂きましたが、他の職員の方の助けもあり、正社員としてお仕事を続けられていることに感謝しております。

（育児休業を取得した女性職員より）

私は今年の10月に長男が生まれました。妻が出産してから里帰りをし、里帰りから戻ってくるタイミングで、育児休業を取得しました。私と妻の初めての子どもでお互い不安なこともありましたが、共に子どもを育てることができ家族で支えあいながら子どもとふれあえることができました。また育児休業を取った後も職場の皆様が「もっと取っても大丈夫なのに」と言って下さり、子どもや妻が何かあった際に育児休業をとってもいいんだ、と安心して働くことができています。 （育児休業を取得した男性職員より）

